

中間集落

屋久島の南西岸に位置する小さな里。中間は世帯数が120に満たず、島の沿岸集落のなかでも特に人口の少ない集落の一つです。気温は島内の平均よりも高く、雨量が比較的少ないおかげで、当初はサトウキビの栽培の中心地として発展しました。サトウキビとヨモギの味が特徴のもちもちしたお米のお菓子、屋久島の特産「かからん団子」を是非試してみてください。多くの人が、推定樹齢約300年の巨木のガジュマルを見に足を運びます。

砂浜が広がるビーチで泳いだり、路地を歩いたりして過ごしましょう。路地に数多くみられる石垣は天然の石を積み上げたもので、その歴史は1800年代後半まで遡ります。地元のフルーツガーデンに立ち寄れば、バナナやパイナップル、グアバの木陰を歩くだけでなく、甘いものも楽しめます。園内には、1,700種もの熱帯、亜熱帯の植物が栽培されています。